



くしろでのCCLの取り組み

地域包括ケアに携わる多職種合同研修会

2017年10月14日(土)

釧路協立病院 医療福祉相談室 望月誠

☎0154-24-6811

✉ mochizuki865@dotokin-medwel.or.jp





く C ooperate 連携する

く C reate 創造する

る L ive 人生を楽しむ

(本音で地域連携のあり方を検討する会)

活動の柱 その1

研修会

日程	テーマ	参加数
H21.12.17	本音で語ろう！退院支援と地域連携vol.1	69人
H22.05.21	本音で語ろう！退院支援と地域連携vol.2 踏み出す一步はみんなの創意	112人
H22.11.12	本音で語ろう！退院支援と地域連携vol.3 輪になって繋ごう！みんなの思い	128人
H23.01.19	本音で語ろう！退院支援と地域連携vol.4 題名のない座談会	24人
H23.07.01	本音で語ろう！退院支援と地域連携vol.5 連携の明星	50人

- ・日ごろ感じている課題を出し合うことから始め解決に必要なキーワードを確認
- ・退院支援と地域連携における優先順位は情報共有



- ・その具体的な方法として、医療機関における「カンファレンス」と介護保険サービスを利用する際に開催される「サービス担当者会議」の活用が提案された

日程	テーマ	参加数
H23.11.18 みんなで学ぼう！カンファレンスと担当者会議vol.1	はじめの一步	97人
H24.06.29 みんなで学ぼう！カンファレンスと担当者会議vol.2	退院を前に揺れる花子さん	110人
H25.01.31 みんなで学ぼう！カンファレンスと担当者会議vol.3	私は畳の上で最期を迎えたい	120人

- ・カンファレンスとサービス担当者会議の在り方を共に学び、深める内容
- ・オリジナルの事例をもとに参加者同士のロールプレイやグループワークによる事例検討



- ・様々な職種による立場や視点の違い、得意・不得意があることを共有

日程	テーマ	参加数
H25.10.04	乗り越えよう！多職種間の葛藤 vol.1 私の常識は、あなたの常識!?	81人
H26.01.31	乗り越えよう！多職種間の葛藤 vol.2 退院支援の裏側 全部見せます!!	131人
H26.10.03	乗り越えよう！多職種間の葛藤 vol.3 看取りの流儀	139人
H27.02.20	乗り越えよう！多職種間の葛藤 vol.4 幸せな人生の支え方～認知症編	80人
H28.01.28	乗り越えよう！多職種間の葛藤 vol.5 多職種連携の研修会	56人
H29.03.10	乗り越えよう！多職種間の葛藤 vol.6 多機関・多職種協同による事例検討会	54人

- ・参加者の持ち寄ったモヤモヤ事例をもとに解決方法を検討
- ・グループ内で紙コップを使って立体エコマップを作り話し合う

サロン

活動の柱 その2

・「互・知・創サロン」～今さら聞けないこんなことの会～としてスタート

互 介護関係者が気軽に集い、リラックスした雰囲気
で職間の垣根なく交流ができる

知 普段なかなか聞けないようなことを学習・意見交
流・情報交換できる

創 顔見知りになる事で日常の仕事に役立てる関係
をつくり、釧路地域の連携づくりについて考える

・平成27年から「病院deサロン」へ展開

そうだ！CCLのサロンへ行こう



今年度も釧路のより良い“医療と介護”の連携を推進するため、次のとおり、病院を会場としてサロンを開催します。
サロンに参加して、参加者とともに日ごろの悩みや基礎を共有してみませんか。仕事上のヒントとか、仲間づくりとか、モヤモヤの解消とか、ワイワイと楽しむとか。楽しみ方はそれぞれです。是非ともお話し合わせの上、ご参加ください。

第1回 釧路赤十字病院 de サロン

第2回 釧路労災病院 de サロン

第3回 釧路協立病院 de サロン

第4回 市立釧路総合病院 de サロン

主催 CCL(本音で地域連携のあり方を検討する会)

回数	日程	テーマ／講師	参加数
1	H22.06.16	「病院医師と訪問診療医の違い」 ふたば診療所 院長 谷藤公紀氏	
2	H22.08.18	「開業1年を振り返って～内視鏡治療を中心に～」 杉元内科医院 院長 杉元重治氏	
3	H22.10.20	「市立釧路総合病院 医療連携室について」 市立釧路総合病院 MSW 野瀬千恵美氏	
4	H22.12.15	「緩和ケアについて」 市立釧路総合病院 緩和ケア認定看護師 野呂真貴氏	
5	H23.02.16	「ドクターヘリの運行・対応状況」 市立釧路総合病院 救急外来ER副師長 三上郁子氏、泉谷勇氏	
番外編	H23.03.15	「家庭医ってなに？」 釧路協立病院 内科医師 佐藤健太氏	
6	H23.04.20	「癌患者の口腔ケア」 おかだ歯科医院 院長 岡田実継氏	30人
7	H23.06.15	「訪問リハの明日について～PT、OT、STって何してるの？」 訪問リハビリ四天王	37人
8	H23.08.17	「寝たきりの方の体交と食事①」 訪問リハビリ四天王	26人
9	H23.10.19	「寝たきりの方の体交と食事②」 訪問リハビリ四天王	34人

回数	日程	テーマ／講師	参加数
10	H23.12.21	「いま わたしが伝えたいこと」 BON-SCO(ラベンダーリボン運動) 代表 赤間有美子氏	33人
11	H24.02.15	「アロマテラピーについての講和と実技」 スイートバジル 代表 須藤加代子氏	35人
12	H24.04.18	「タッチセラピー」 杏園堂鍼灸院 院長 須藤隆昭氏	32人
13	H24.11.15	「サ高住の概要について」 浅野先生とみのるの家スタッフ	19人
14	H25.01.18	「暮らしを診る診療所の医師として感じること～『まち』と『ひと』と『絆』～ 道東勤医協桜ヶ岡医院 院長 石川晶氏	22人
15	H25.02.15	「障がい者福祉の聞きたいことにお答えします」 釧路市障がい福祉担当 浅野聡子氏、岡根宏氏	20人
16	H25.03.19	「病状説明に立ち会ったケアマネの苦悩」 杉元内科医院 院長 杉元重治氏	19人
17	H25.07.11	「医療を身近に学ぼうシリーズVol. 2～緩和ケア」 釧路労災病院 副院長 小笠原和宏氏	26人
18	H25.09.26	「医療を身近に学ぼうシリーズVol. 3～わかる、気づける！高齢者の肺炎」 市立釧路総合病院 医師 小橋氏	20人
19	H25.11.26	「自分らしく豊かに暮らすを叶える地域とは～地域の連携構築に必要な要素を深める」 釧路保健所企画総務課係長 松木氏、釧路市役所介護高齢課課長補佐 若狭氏	21人

回数	日程	テーマ／講師	参加数
20	H26.02.25	「CCLのお茶会」	9人
21	H27.01.22	「お手軽！！ひとり暮らしでも明日から使える調理・テクニック！」 特別養護老人ホーム清和園 管理栄養士 田浦光子氏	4人
22	H27.02.13	「口からはじめるいきいき生活～これであなたも口腔ケアのプロフェッショナル！？」 北海道／釧路歯科医師会在宅歯科医療連携室 歯科衛生士 木本恵美子氏／明田めぐみ氏	6人
23	H27.09.25	「病院deサロンin釧路赤十字病院」	46人
24	H27.10.27	「病院deサロンin釧路労災病院」	51人
25	H27.11.30	「病院deサロンin市立釧路総合病院」	89人
26	H28.06.02	「看取り」 杉元内科医院院長 杉元重治氏、訪問看護ステーションすこやか所長 黒川薫氏	約 100人
27	H28.09.21	「病院deサロンin市立釧路総合病院②」	
28	H28.10.18	「病院deサロンin釧路労災病院②」	
29	H28.11.22	「病院deサロンin釧路赤十字病院②」	

自宅の「みとり」を考える

訪問看護の事例紹介

釧路で医療関係者らサロン

自宅で最期を迎える人に寄り添う「みとり」のあり方を医療・介護関係者が考える「サロン」が2日、釧路市の杉元内科医院(中園町)で開かれた。約100人が集まり、医療関係者や施設の不足、医師の意識面の課題などを話し合った。

(安藤徹)

釧路管内の医療・福祉関係者らでつくる「本音で地域連携のあり方を検討する会」(CCCL)が主催した。

釧路市の訪問看護ステーションすこやかの中川龍所長は、自宅で最期を迎えることを望んだ81歳の男性の事例を紹介した。男性は人工透析を受けていたが治療の継続を拒否。自宅で訪問看護を受け始めてから8日目に亡くなった。黒川所長は「認知症の人など、本人の意思をどのように確認するか課題がある」と指摘した。

また杉元内科医院の杉元重治院長は「訪問診療をする勤務医は多くない」と医師の意識面を指摘した。

参加者は小グループに分かれて討議も行った。弟子屈町のケアマネジャー小浜ちあきさんは「町内は訪問看護ステーションがなく、標茶町から来てもらっている。訪問看護を行う環境が足りない」と意見を述べていた。

みとりを行う専門職のあり方を話し合った「サロン」



活動の柱 その3

調査

第1弾

- 釧路管内の保健・医療・福祉領域における連携の実態と課題に対する41人へのインタビュー調査
- CCL(多職種)による調査と報告会の開催

ハンドブック

- 浮かび上がった4職種(医師、看護師、介護支援専門員、MSW)
- 座談会の開催

第2弾

- 医師、看護師、介護支援専門員、MSW 4職種の量的調査
- CCL+松岡千代教授(佛教大学)

調査活動を通して明らかになったこと

コミュニケーションの難しさ

モチベーション維持することの難しさ

チーム内における役割と葛藤

リーダーシップの大切さ

職場環境による影響

医療と介護の連携に必要な要素

人間性と専門性の相互作用

- “職種”と“職種”というよりも“人”と“人”の関係性が重要である。

高いコミュニケーション能力

- 多岐にわたる情報を共有する必要がある。
- 専門的な情報ばかりではなく、「好き・嫌い」などの主観的な情報も多く含まれる。

コンフリクト【葛藤】マネジメント

- 本当のチームワークのためには、葛藤を乗り越えていくことが必要
- メンバーの多様性は創造性を高め、自己のスキルや能力を豊かにする。

リーダーシップと職場環境による影響

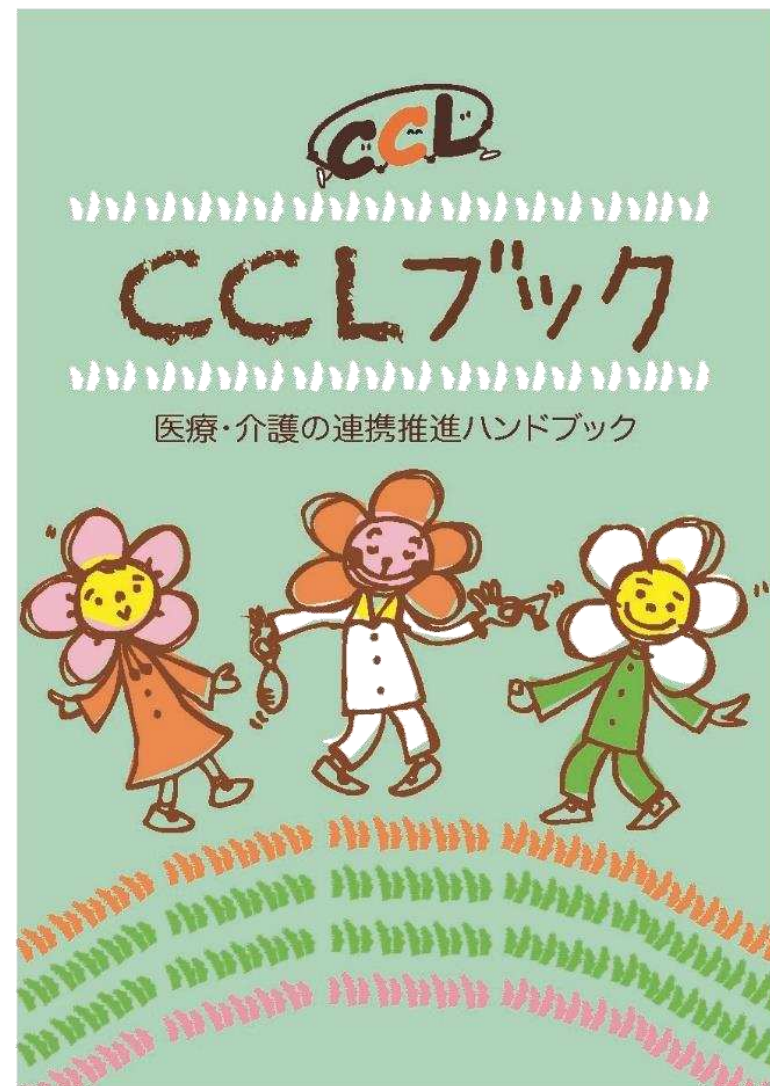
- 今後の取り組みを検討

医療連携推進事業 在宅医療連携システム推進事業の 取り組みから

活動の成果

医療・介護の連携ハンドブック

1. はじめに
2. 多職種連携の現状とこれから
3. 多職種連携マナー
4. 4職種の座談会
5. 専門職の声 (アンケート結果より)
6. 利用者の声 (アンケート結果より)
7. 連携の達人の声
8. 体験記
9. おわりに



『クライアントの意思を大切にしながら
ニーズの優先度を見極める』



『必要な情報はもらいに行く』



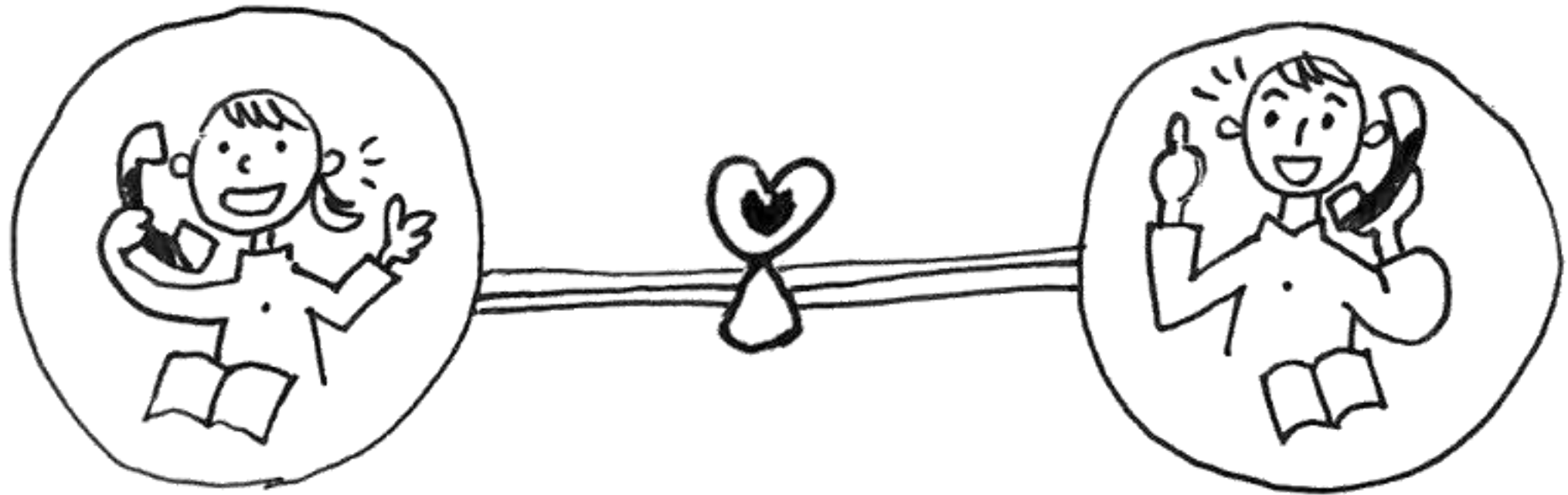
『目標を共有するために集まり話し合う』



『お互いに前向きな姿勢で話し合い、関わる』



『はじめから100点満点の情報提供はない。
綿密な情報交換が必要』



職場環境

専門職文化

個人の資質

新たな活動

市民フォーラム

知って得する!知らなきゃ損する!～全部見せます 釧路の医療と介護～
平成26年12月7日 約350名参加

- 医療・介護サービスの基本的な流れや仕組みを3つの事例を通して解説
- サービス紹介・展示・相談

ざいたくってナニ?今あなたに伝えたい、在宅医療・介護のものがたり
平成28年2月11日 約400名参加

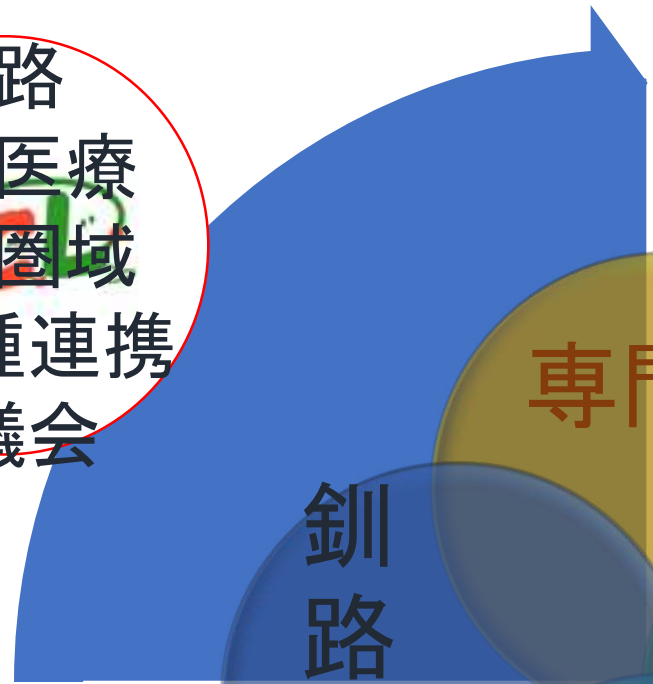
- 介護や看護を経験した家族のインタビューや関係者の仕事などを映像で紹介
- 医療や介護に関するサービスの紹介・相談

知って安心!認知症

平成29年1月15日 約120名参加

- 認知症事例の動画や医学的な説明を通して認知症の方を支える知識と理解を深めた

釧路
保健医療
福祉圏域
多職種連携
協議会



専門職



関係機関



釧路地域



本人・
家族

研修


メルマガ


懇親会


調査


懇親会


フォーラム


サロン


懇親会


多職種連携は

CCLの参加を通じて緊張感の緩和や対話が促進され

様々なひとと

相手の人となり(考え方、価値観)や

職種との関わりの中で

職種(知識、技術)を感じ、理解することで

醸成される